

○修学支援・キャリア形成支援・学生生活支援等

- ・ 学修，生活，進路等については，指導・助言・相談が求められるように，全ての年次に学年担当教員を配置している。また，学生支援課内に「何でも相談窓口」を配置している。
- ・ 医学科では学年担当のほか、1～3学年の各学年に1名の臨床教授をアドバイザーとして配置する「臨床アドバイザー制度」や、各学年の地域卒学生2～3名ずつで編成されたグループにメンター教員1名を置き、教員からのキャリア支援・地域卒学生同士の先輩後輩のつながりを目的とした「地域卒学生のキャリア支援メンター制度」を導入している。
- ・ 看護学科1・2学年では学年担当のほかに「グループ担任制度」を導入しており、生活面や大学での学び方など、看護職を志す学生の先輩として相談に応じている。
- ・ 「オフィスアワー」については，履修要項に教員ごとの相談場所，時間等を一覧表に掲載し，授業や履修に関する相談に応じている。
- ・ 「新入生研修会」では，学生生活や健康管理についての助言を行っている。
- ・ 投書箱「学生の声」を設置し，生活ニーズの全般を把握している。また，学生の意見や要望を支援方策に反映させるため，教育担当副学長・学長補佐等による学生との意見交換会を開催し，学生生活の改善を図っている。